

事務事業名		通学路整備事業(緊急対策)		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	04 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目	
	施策名	15 良好な生活空間の創造		区分		会計	款
	基本事業名	01 生活道路の整備		期間限定複数年度		01	08
根拠法令		-		※期間欄に計画期間を記入		02	02
所属	部課名	都市整備部建設課		【計画期間】		事務事業区分	
	課長名	長岩 智徳		令和4 年度～ 令和8 年度		B 施設整備	
	係名	-		※全体計画欄の総投入量を記入			
	担当者	千葉 知裕	電話 0192-27-3111				
			内線 309				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
千葉県八街市における交通事故を受けて実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせて実施する交通安全対策であり、関谷小林線(関谷工区)、釜石沢線(猫足工区)、萱中線(萱中工区)、富岡線(富岡工区)、中井下欠線(長谷堂工区)、長谷堂線(中井沢工区)、中井沢線(中井沢工区)、石浜東線(石浜工区)、山根線(山根工区)のハード整備とソフト対策として市内全域でボランティアによる見守り活動を実施する。						総投入量(千円)	
【計画期間】 令和4年度:0箇所 令和5年度:3箇所 令和6年度:4箇所 令和7年度:1箇所 令和8年度:2箇所						国庫支出金 84,380	
						都道府県支出金 0	
						地方債 68,800	
						その他 0	
						一般財源 238	
						事業費計(A) 153,418	
						正規職員従事人数 8	
						延べ業務時間 720	
						人件費計(B) 2,880	
						トータルコスト(A)+(B) 156,298	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	
工事施工 萱中線(萱中工区)		ア	安全対策箇所
		イ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ	
工事施工 釜石沢線(猫足工区) 関谷小林線(関谷工区)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		カ	安全対策箇所
通学路		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
通学路の交通安全対策		名称	
		サ	安全対策箇所
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	
児童生徒等が安心して通学できる歩行環境確保の実現		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
			千円								
	事業費	国庫支出金	千円				5,500	5,500	4,166	44,356	
		都道府県支出金	千円				0	0	0	0	
		地方債	千円				4,500	4,500	3,300	35,400	
		その他	千円				0	0	0	0	
		一般財源	千円				0	2	34	94	
	事業費計(A)			千円	0	0	10,000	10,002	7,500	79,850	
	人件費	正規職員従事人数	人					2	2	2	2
		延べ業務時間	時間					240	240	240	240
		人件費計(B)	千円	0	0	960	960	960	960	960	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	0	0	10,960	10,962	8,460	80,810
⑤活動指標											
	ア	箇所		-	-	0.5	0.5	2.0	0.0		
	イ										
	ウ										
⑥対象指標											
	カ	箇所		-	-	0.5	0.5	2.0	0.0		
	キ										
	ク										
⑦成果指標											
	サ	箇所		-	-	0.5	0.5	2.0	0.0		
	シ										
	ス										

事務事業ID	事務事業名	通学路整備事業(緊急対策)
--------	-------	---------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	千葉県八街市における交通事故を受けて実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせて実施する交通安全対策について、計画的かつ集中的な支援を可能とする個別補助制度が創設され、令和4年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解度が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？ 改良整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 交通安全対策の要望であることから、対象範囲は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 交通安全対策の計画であることから、これ以上の成果向上の余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 交通の安全性を欠き、快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施することから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	通学路の安全確保のため特に危険な箇所の改良であることから着実な事業実施が必要
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」)(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	通学路の緊急点検の箇所の早期の危険解消へ向け着実な対応が必要